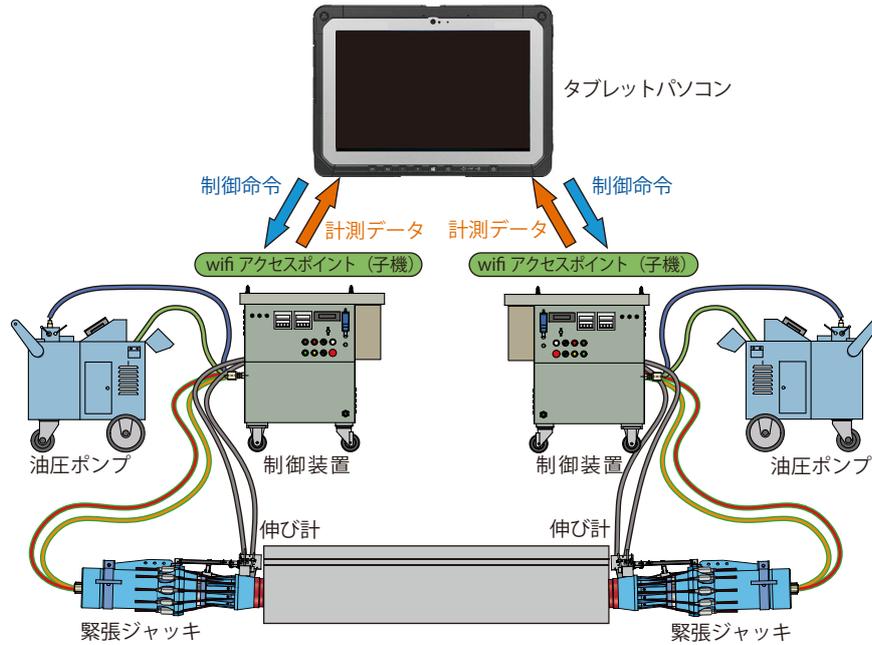


全自動緊張管理システム

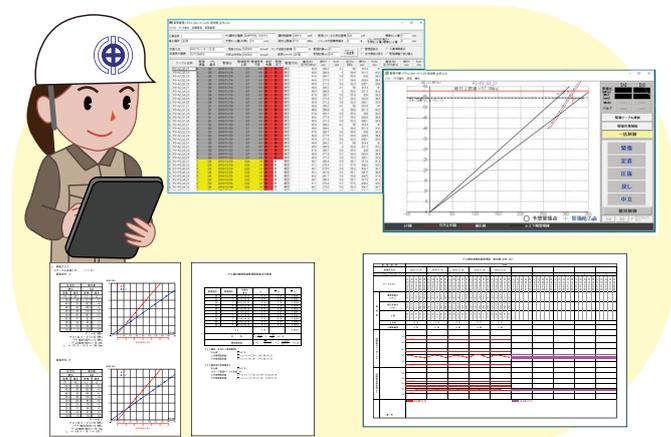
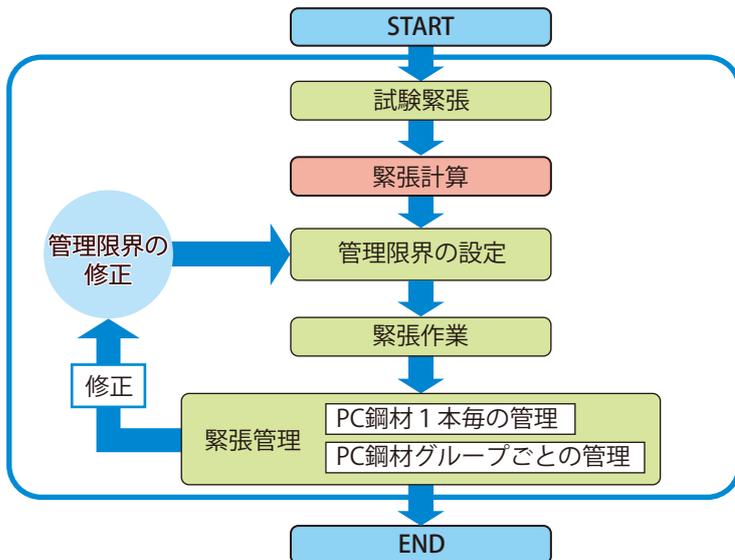
全自動緊張管理システムは、摩擦係数をパラメータとして管理する手法に対応した主ケーブル用の緊張管理システムです。

このシステムは、従来行ってきた緊張ジャッキの操作や、緊張圧力・PC鋼材伸び量の測定、緊張管理グラフの作図など、人手に頼っていた作業を自動化したシステムです。



システム概要

本システムでは、摩擦係数をパラメータとした手法による緊張管理を、緊張計算から緊張作業まで一貫して行うことができます。



Point 1 省人化・安全性の向上

タブレットパソコンで緊張ジャッキを操作し、緊張圧力とPC鋼材伸び量を自動計測できるので、ポンプ操作者と伸び計測者が不要です。
また、作業中の緊張ジャッキに近づく必要がなくなり、安全性が向上します。



緊張作業

初期荷重(5MPa)

伸び量リセット

緊張(55MPa)

指令モード
中立 中立

指令圧 50.0

最終緊張荷重

最終緊張

定着

セット量確定

戻し

モニター

終了

緊張

A▲ B▲

A▼ B▼

減圧

値更新

短い

保持時間

長い

緊張圧制御

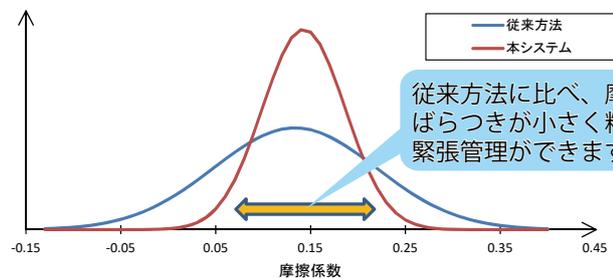
分割 1

運延なし

観測値

Point 2 緊張管理の精度向上

左右のジャッキを同時加圧するとともに、緊張圧力と伸びの測定をデジタル計測します。安定した作業が可能となり、測定管理精度が向上します。



Point 3 一括管理による省力化

緊張管理グラフの作成・管理限界の修正を自動で行うため、管理の省力化が図れます。

プログラム画面

管理グラフをPDFで出力

- 1本ごとの管理グラフ
- グループ管理グラフ
- 管理限界の修正計算結果
- 試験緊張結果

グループ管理グラフの例